



なんでやねん

発行責任者 倉橋 忠



No.45

「情報」の「ウソ」を見破ろう

君たちと一緒に学んだ2年間は、とても楽しい時間でした。ありがとうございました。心から感謝します。新型コロナウイルス感染防止のための休校により、授業を終えることになり残念でなりません。君たちが健康で再度登校できることを祈ります。

さて、予定では「No.45」は、学年末試験の解説を書くつもりでしたが、「臨時休校中の学習課題」に変更します。自分だけ、あるいは友だちと一緒に「学習課題」に取り組んでください。2ページに「解答と解説」を掲載しています。

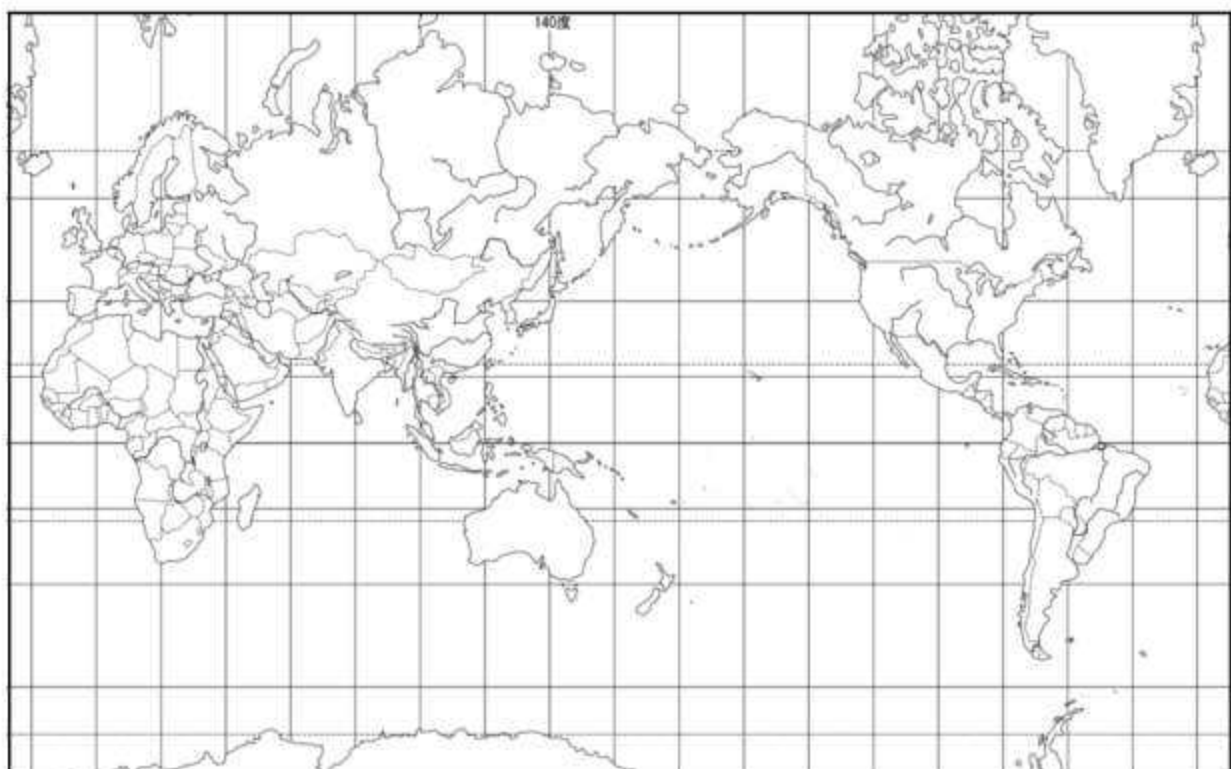
「臨時休校中の学習課題」

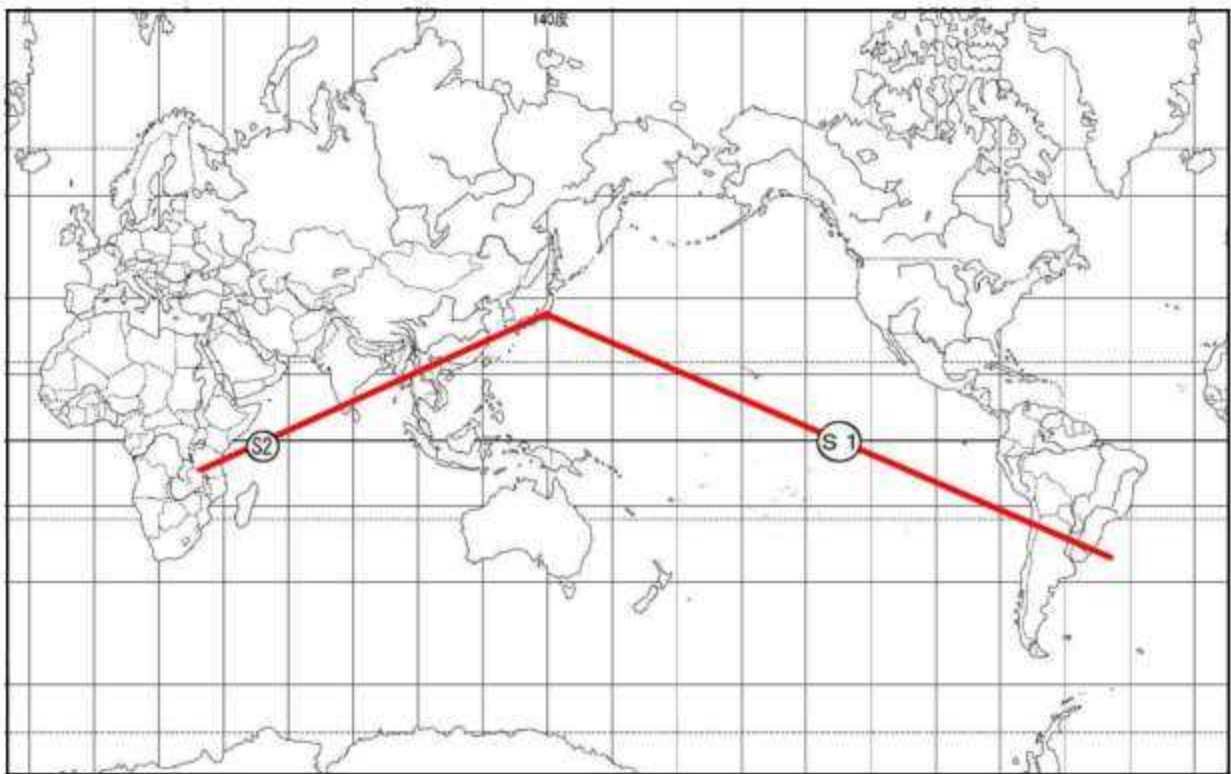
日本から見て、真東と真西にある国はどこになりますか。下の世界地図に線を引いて示しなさい。また、その線を引いた理由を説明しなさい。

ヒント：① 春分の日(彼岸)と秋分の日(彼岸)は、昼間と夜間の時間が等しくなります。およそ、日の出は午前6時、日没は午後6時になります。

② 下の地図の経線は、20度間隔で引かれています。

③ 地球上での太陽の位置は、夏至の日には北回帰線上、冬至の日には南回帰線上にあります。





【解説】

あまり考えずに、日本の東にある国をさがせば、「アメリカ合衆国」が答えになるでしょう。けれども、それは本当でしょうか？ もう一度考え直してみましょう。

太陽は、どの方位(方角のこと)から昇ってくるのでしょうか？

小学校の理科で、春分の日や秋分の日には、太陽は真東から昇ると学びました。

そして、地球上で見ると、太陽の位置は、春分の日と、秋分の日には、赤道上有ります。夏至の日には北回帰線上、冬至の日には南回帰線上にあります。

ですから、日本で見る春分の日と秋分の日の、日の出のときの太陽は、赤道上の太陽を見ていることになります。また、春分の日と秋分の日は、昼間と夜間の時間が等しく、日の出は、午前6時です。日本から見て東に $15^{\circ} \times 6 = 90^{\circ}$ つまり、東経 $135^{\circ} + 90^{\circ}$ の位置が真東。それが、地図上の太陽の位置「S1」(地図上の○印)です。

日本から「S1」の位置に向かって線を引くと、それが真東になります。

日本から真東に向かって線を引いた先にある国。それはどこの国でしょうか？ それが地球儀を使って学習したときの「答え=チリ(アルゼンチンは、チリの東)」です。

このように「世界地図」だけでなく、多くの資料などが示す「情報」の「ウソ」を発見するためには、他の教科で学習して得た知識もフル活用する必要があります。

計算式 S1の位置は、東経 $135^{\circ} + 90^{\circ} =$ 東経 225°

東経 225° はないから、東経 $225^{\circ} - 180^{\circ} = 45^{\circ}$ これが日本の真東になる赤道上の位置。なお、東経 $180^{\circ} =$ 西経 180° なので、日付変更線をこえる分は、 $180^{\circ} - 45^{\circ} (=$ 西経 $135^{\circ})$ になる。

S2は、東経 $135 - 90^{\circ} =$ 東経 45° これが日本の真西になります。